

紫外照明

波長域:365・385・395・405nm
蛍光体の励起や、微細なキズ検査に最適

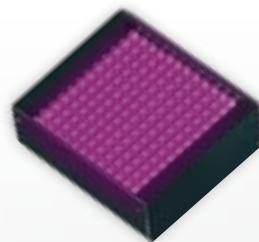
波長域:280nm(深紫外)
分解能の高い検査や微細欠陥
励起・吸収を利用した透明体の検査に最適

《紫外照明ご使用時の注意事項》

- ・光源の直接光及び鏡面反射光は直視しないでください。
- ・UV光源使用時は保護メガネを着用してください。
- ・発光部を人の眼に向けた状態で電源を入れ、点灯しないようにしてください。
- ・長袖の服や手袋を着用して、照射が皮膚に直接触れないようにしてください。

IDBA series

NEW



IDR series



IHV series

NEW



IDHRC series

NEW



IDBC-CH series

NEW

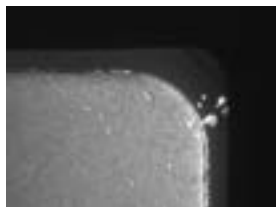


紫外照明(波長域:365 ~ 405nm)

● 撮像例

蛍光体の励起や、微細なキズ検査に最適です。

ワーク:カレー粉の付着物



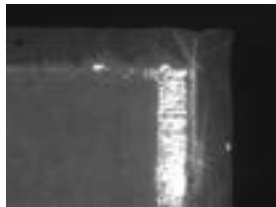
(使用照明:IDHRC-100S-UV-365)

ワーク:粉洗剤



(使用照明:IDBC-CH150S-UV-365)

ワーク:糊の付着物



(使用照明:IDHRC-100S-UV-365)

ワーク:透明アクリル



(使用照明:IDBC-CH150S-UV-365)

● シリーズ一覧

照明タイプ	シリーズ(掲載ページ)	波長域
リング照明	IDR series(P.34)、IDR-LA series(P.35)	405nm
バー照明	IDBA-LE series(P.45)、IDBA series(P.46)	405nm
スポット照明	IV・IHV・IHVT series(P.75)	365nm 375nm 385nm 395nm 405nm
特殊照明	IBF series(P.79)	405nm
	IDBC-CH series(P.82) NEW 、IDHRC series(P.83) NEW	365nm 385nm 395nm 405nm

NEW 深紫外照明(波長域:280nm)

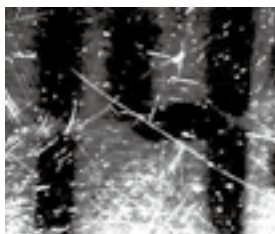
● 撮像例

分解能の高い検査、微細欠陥

深紫外線は短波長のため散乱率が可視光に比べて高く、微小なキズや凹凸欠陥の検出に有効です。半導体などの肉眼では観察できないような微細な検査も高い分解能で行うことができます。



可視光照明



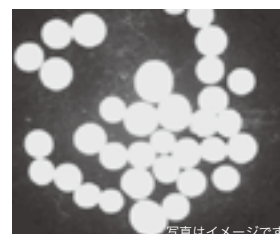
深紫外照明

励起・吸収を利用した透明体の検査に最適

透明な接着剤やグリスなどには蛍光物質が含まれる場合があります。蛍光物質に紫外線を照射することにより白く光るため、検出が可能となります。



可視光照明

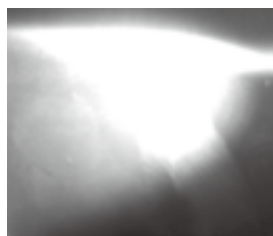


深紫外照明

写真はイメージです

● 波長280nm の特性と透明ガラスの検査

例えばガラスの表裏は錫(すず)面と非錫面で形成されています。見た目ではどちらも透明のため目視で表裏を判別することは不可能ですが、錫は280nmを吸収する特性があるので表裏を判別することが可能です。



反射画像(非錫面)



吸収画像(錫面)

● シリーズ一覧

照明タイプ	シリーズ(掲載ページ)	波長域
バー照明	IDBA series(P.46)	280nm
スポット照明	IV・IHV・IHVT series(P.75)	280nm

UVC LED 取扱上の注意：本製品からは深紫外線(UVC)が発光されます。ご使用の際は直接光および反射光が人体に直接照射されないよう、適切な防具を必ず着用ください。